

ケースメソッドを応用した災害時の栄養・食生活支援に関する企画研修 開催要領

目 的	<p>近年、日本各地で地震や風水害等の自然災害が予測もしないスケールで国民生活に不安と衝撃を与えています。東日本大震災から被災地へ行政栄養士の派遣が始まり、被災者の栄養・食生活支援活動が重要視されています。そこで、令和元年度地域保健総合推進事業「大規模災害における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究」では行政栄養士が災害時にどのような対応をすべきか、その判断を迅速に適切に行う能力を養成するため、実際の支援活動のケースを元に演習教材を作成しました。今後、各自治体において、災害時の栄養・食生活支援の充実を図るために、地方自治体が主催となり演習教材を用いた研修会が各地で実施されることを想定していますが、ケースメソッドを用いた演習を行うには進行役となるファシリテーターの役割が研修の質を左右します。そこで、全国の管理栄養士養成施設から、当演習教材を用いた研修のファシリテーターを担っていただける教員を養成し、各地で研修を行うための体制を充実させ、災害時の栄養・食生活支援を強化するために研修会を開催します。なお、当研修を受講された養成施設の教員方々については、災害時の栄養・食生活支援研修のファシリテーターとして、地方自治体に紹介することを予定しています。</p>
主 催	日本公衆衛生協会
開催期日 及び会場	<p>【第1回】 令和2年9月28日(月)及び 10月3日(土) 2日間 【第2回】 令和2年10月11日(日)及び 10月12日(月) 2日間</p> <p>Webex 又は Zoom によるオンラインにて開催します、 と は同じ内容ですので、第1回と第2回それぞれの日程で組み合わせても参加可能とします。</p>
時 間	及び ともに10時～16時
対 象 者	全国の管理栄養士養成施設教員(公衆栄養、栄養教育等)、都道府県・指定都市・中核市・政令市・特別区が設置する保健所及び本庁等で行政栄養士の研修を企画する担当者
参 加 費	無 料
申込方法	別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、 <u>事前アンケート</u> を添えて令和2年9月23日(水)までにお申し込みください。関係様式は日本公衆衛生協会ホームページにデータを掲載します。
内 容	<p>【1日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.開 会 2.講 話「ケースメソッドを応用した演習について(仮)」 講 師 女子栄養大学栄養学部 武見ゆかり教授 3.説 明「ケースメソッドを応用した演習教材集について」 大規模災害における栄養・食生活支援活動の連携体制と人材育成に関する研究班 4.演 習「ケースメソッドを応用した演習～災害時の栄養・食生活支援活動～」 ファシリテーター 女子栄養大学栄養学部 武見ゆかり教授 5.講 話「ケースメソッドを応用した演習のためのティーチングノート作成について(仮)」 講 師 女子栄養大学栄養学部 武見ゆかり教授 6.演 習「2日目演習のための研修企画とティーチングノートの作成」 7.閉 会 <p>【2日目】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.開 会 1日目の振り返り 2.演 習1「ファシリテーターの実践1！」 講 師 女子栄養大学栄養学部 武見ゆかり教授 3.グループ討議「演習1の振り返り」 4.演 習2「ファシリテーターの実践2！」 講 師 女子栄養大学栄養学部 武見ゆかり教授 5.グループ討議「演習2の振り返り」 6.意見交換「ケースメソッドを応用した行政栄養士研修の企画について」

	7. その他「ケースメソッドを応用した行政栄養士研修のファシリテーター紹介について」 8. 閉会
事前課題	参加申込みをされた方には、第1回目の研修開催日の10日前程度に、演習で使用するケースをメールします。研修開催日までにケースの熟読をお願いします。